ふくい ゆかりの地MAP

明智光秀

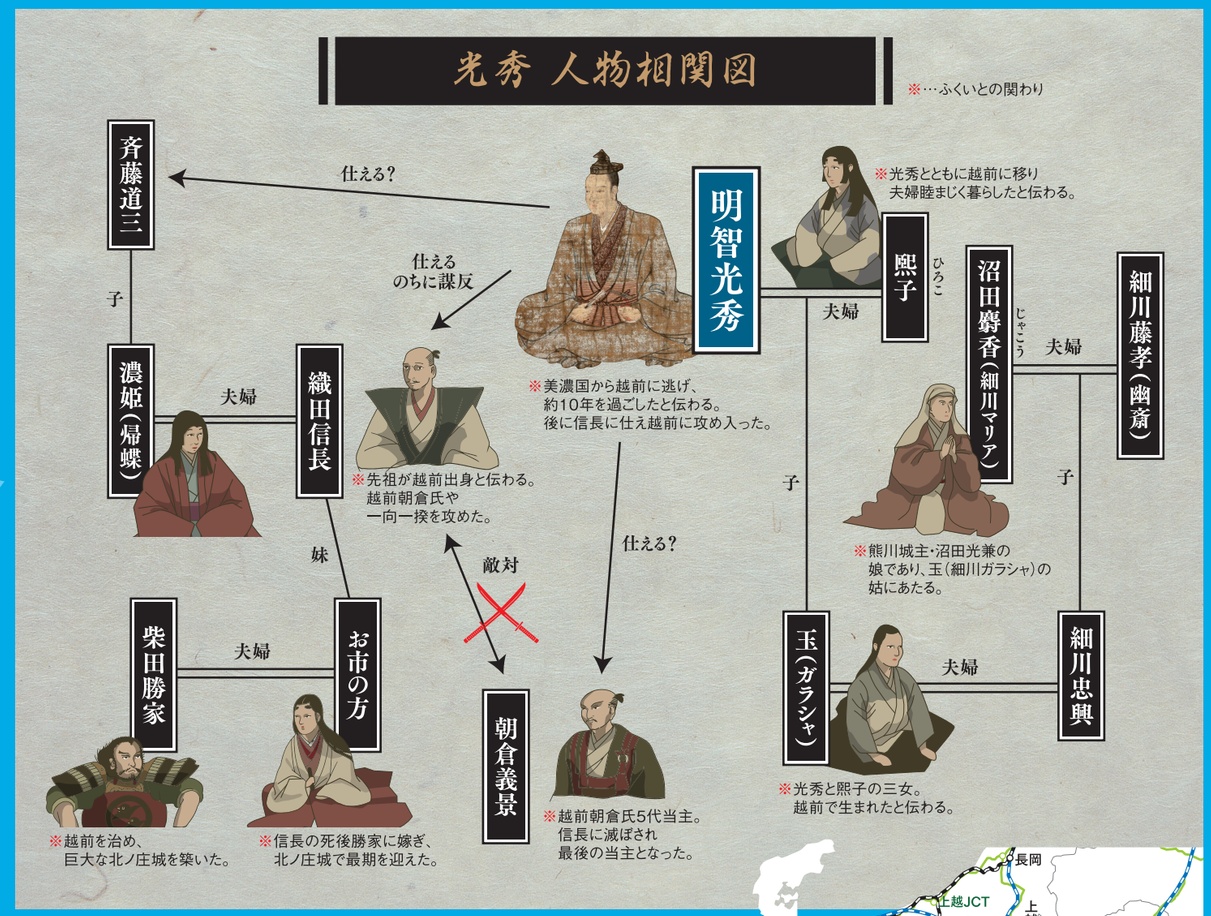
光秀

ふくいで暮らしたと伝わり、のちに信長のもとで
ふくいに攻め入った明智光秀。
2020年大河ドラマ「麒麟がくる」の
主人公・光秀ゆかりの地を巡れば、
謎に包まれた人物像が見えてくる！

光秀ゆかりスポットの
アクセス情報
最新情報は
こちら

光秀 人物相関図

※…ふくいとの関わり



明智光秀の人生年表

◉年齢は1528年誕生説による。
光秀の略歴には伝承含め諸説あり。

1528年（1歳）	美濃国にて誕生
1556年（29歳）	斎藤義龍に攻められ越前に逃亡
1570年（43歳）	称念寺門前にて寺子屋を開いたのち、一乗谷近くの東大味に移り越前朝倉氏に仕える
1571年（44歳）	織田信長による越前攻めに参陣し、「金ヶ崎の退き口」でしんがりを務める
1576年（49歳）	比叡山延暦寺焼き討ちで武功を挙げる 近江志賀郡を拝領し坂本城を築城
1580年（53歳）	丹波攻めの拠点となる丹波亀山城の築城を開始
1582年（55歳）	丹波国を拝領
敵は本能寺にあり	本能寺宿泊中の信長に謀反を起こし、襲撃する（本能寺の変） 羽柴秀吉との戦いに敗れ、逃亡中に農民らに殺害される



＼ドライブで巡ろう！／ 光秀「雌伏の地」主要スポット

JR福井駅

3 ↓ 車で25分 明智神社（福井市）
4 ↓ 徒歩５分 西蓮寺（福井市）
5 ↓ 車で10分 一乗谷朝倉氏遺跡（福井市）
2 ↓ 車で40分 称念寺（坂井市）

＼ドライブで巡ろう！／ 光秀「飛躍の地」主要スポット

JR敦賀駅

10 ↓ 車で10分 金ヶ崎城址（敦賀市）
9 ↓ 車で30分 佐柿国吉城址（美浜町）
8 ↓ 車で35分 熊川宿・得法寺（若狭町）
11 ↓ 車で45分 石山城（おおい町）



◉大阪から

●JR
湖西線特急サンダーバード→福井駅 約1時間50分

●自動車
名神―北陸自動車道→福井IC 約2時間40分

●高速バス
大阪梅田→福井駅東口 約3時間30分

◉名古屋から

●JR
北陸線特急しらさぎ→福井駅 約2時間

●自動車
名神―北陸自動車道→福井IC 約2時間

●高速バス
JR名古屋駅から→福井駅 約2時間40分
名鉄バスセンター→福井駅 約2時間50分

◉東京から

●JR
北陸新幹線かがやき―北陸線特急しらさぎ→福井駅 約3時間20分
東海道新幹線ひかり―北陸線特急しらさぎ→福井駅 約3時間30分

●飛行機
羽田―小松空港―連絡バス→福井駅東口 約2時間

●自動車
東名―名神―北陸自動車道→福井IC 約5時間30分

●高速バス
東京駅八重洲南口→福井駅東口 約8時間20分
新宿駅新南口→福井駅東口 約7時間40分



[発行] 福井県交流文化部文化課
福井県福井市大手3丁目17-1　☎0776-20-0582　FAX 0776-20-0661　（令和元年12月発行）

光秀の生き様 ふくいにたどる。

明智光秀の前半生には諸説あるが、一説では、美濃国（岐阜県）を追われた光秀は越前（福井県北部）に逃げ、10年ほど暮らした可能性があるという。その後、織田信長に仕えた光秀は、越前朝倉氏討伐のため若狭（福井県南部）に入り、金ヶ崎での撤退戦で大役を果たしたという。

ふくいの戦国スポット



Ⓐ 丸岡城／坂井市
一向一揆の備えとして、織田信長の命により柴田勝家の甥・勝豊によって築城。
■坂井市丸岡町霞町1-59
☎0776-66-0303（霞ヶ城公園管理事務所）

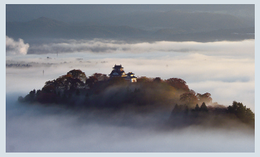


Ⓑ 西光寺／福井市
勝家と妻お市の菩提寺。境内には2人の墓や勝家が愛したという梅の木がある。
■福井市左内町8-21　☎0776-36-1528



Ⓒ 北ノ庄城址／福井市
勝家が築城。羽柴秀吉に敗れた勝家は自ら城に火を放ち、お市と自害した。
■福井市中央1-21-17
☎0776-20-5408（北ノ庄城址資料館）

Ⓓ 劔神社（つるぎ）／越前町
越前国二の宮。信長の先祖が劔神社の神官であったと伝わる。
■越前町織田113-1　☎0778-36-0404



Ⓔ 越前大野城／大野市
信長の家臣・金森長近により、4年の歳月をかけて築城された。
■大野市城町3-109　☎0779-66-0234
※冬期休館あり（12/1～3/31）

光秀ゆかりスポットのアクセス情報最新情報はこちら

4 西蓮寺（さいれん） 福井市

天台宗の古寺。1575（天正3）年、織田信長の命による一向一揆討伐の際、東大味を救うため光秀が柴田勝家と勝定に安堵を依頼。西蓮寺に2通の安堵状が残る。いずれも福井市の文化財指定。

光秀が依頼したとされる地域を救った安堵状が残る。



■福井市東大味町
☎0776-20-5346（福井市おもてなし観光推進課）
福井駅前バスターミナル:京福バス「一乗谷朝倉線62」
福井交通「西大味乗合タクシー」東大味バス停

5 一乗谷朝倉氏遺跡 福井市

戦国時代に朝倉氏5代が103年間にわたって治めた城下町。遺跡が国特別史跡、主要な4庭園が国特別名勝、遺跡出土品が国重要文化財に指定。後の15代将軍足利義昭が9ヵ月滞在した御所・安養寺跡も残る。ここで、光秀は義昭や細川藤孝と顔を合わせたのかもしれない。



朝倉館跡（唐門）



御所・安養寺跡



◉復原町並
福井市城戸ノ内町28-37　☎0776-41-2330（㈱朝倉氏遺跡保存協会）



◉福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館
福井市安波賀町4-10　☎0776-41-2301

■復原町並
JR福井駅東口:京福バス「一乗谷朝倉特急バス」復原町並バス停

6 三峯山 鯖江市

山頂からは一乗谷を一望でき、三方を山に囲まれ北には足羽川の流れる天然の要害として姿を目の当たりにできる。

■鯖江市上戸口町
JR鯖江駅:車で約20分



3 明智神社 福井市

愚人と伝わる光秀を慕い今も木像を大切に守る。



光秀が朝倉氏に身を寄せていた時の屋敷跡。娘の玉（玉子・後の細川ガラシャ）の生誕地と伝わる。一向一揆討伐の際、光秀が柴田勝家らに出させた安堵状により村が守られたことから、現在に至るまで、東大味の人々は光秀を慕いこの神社を守り続けている。

■福井市東大味町
☎0776-20-5346（福井市おもてなし観光推進課）
福井駅前バスターミナル:京福バス「一乗谷東郷線62」
福井交通「西大味乗合タクシー」東大味バス停

11 石山城 おおい町



戦国時代の山城で若狭武田氏家臣・武藤氏の居城。「金ヶ崎の退き口」後、反織田勢力であった武藤氏は光秀と丹羽長秀に攻められ落城した。

■おおい町石山
☎0770-77-2820（おおい町立郷土史料館）
若狭本郷駅:「本郷線」石山バス停

8 熊川宿・得法寺（とくほう） 若狭町



◉熊川宿
1570（元亀元）年、信長は朝倉氏討伐のため越前攻めを行った。光秀は先遣隊として熊川に入り藤孝らに現地の状況を報告した。また、熊川は、光秀の娘・ガラシャの姑にあたる沼田麝香（じゃこう）の故郷である。

■若狭町熊川 ☎0770-45-9111
（若狭町観光未来創造課）



◉得法寺
麝香（じゃこう）の出自である熊川城主沼田氏の供養塔がある。また、信長軍の徳川家康がこの寺に宿泊したといわれ、家康が腰かけたと伝わる松の跡が境内に残る。

■若狭町熊川33-26 ☎0770-62-0319
JR上中駅:JRバス「若江線」若狭熊川バス停

雌伏の地

再起に向け力を養いながら約10年過ごしたとされる。



飛躍の地

信長に仕え越前攻め、撤退戦で大役を果たしたと伝わる。

2 称念寺 坂井市

夫婦で暮らした地とされ、黒髪の美談と句碑が残る。

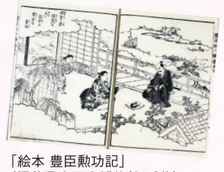


越前に逃れた光秀は、称念寺門前で寺子屋を開いて暮らしを営み、やがて薗阿（えんな）上人の推挙で、朝倉氏に仕官したともいわれている。光秀宅で連歌の会を催した際、妻の煕子（ひろこ）が美しい髪を売って費用を工面した美談が伝わる。それを題材に松尾芭蕉が詠んだ句碑がある。

■坂井市丸岡町長崎19-17　☎0776-43-0753（坂井市観光連盟）
JR丸岡駅:京福バス「丸岡永平寺線82」舟寄バス停



松尾芭蕉が詠んだ
「月さびよ 明智が妻の はなしせむ」
の句碑



「絵本 豊臣勲功記」
（福井県立歴史博物館 所蔵）
光秀と妻との夫婦愛・黒髪伝説



紙漉の業を伝えた女神 川上御前を祀る



三田村氏は紙の生産・販売の中心的役割を果たしていた

写真提供：越前市教育委員会

7 岡太神社・大瀧神社 三田村氏庭園 越前市

岡太神社・大瀧神社が鎮座する今立地区は、古くから和紙の名産地。織田信長に仕官する際、光秀は信長の妻・濃姫（帰蝶）への土産に大滝の髪結紙を贈ったとされる。三田村氏庭園の庭構えは同地区の隆盛ぶりを伝える。

◉岡太神社・大瀧神社　越前市大滝町13-1
☎0778-43-0330（岡太講　石川）
◉三田村氏庭園　越前市大滝町12-5
☎0778-42-0017（有限会社越前製紙工場）
JR武生駅:福鉄バス南越線「和紙の里」バス停
※庭園見学は要事前予約



1 美濃街道 大野市

美濃国にいた光秀は、斎藤義龍に攻められ、油坂峠を越えて越前に逃亡したと伝わる。現在の国道157号、158号の一部。

12 宝慶寺 大野市

朝倉氏滅亡後の信長による領内安定策として、光秀・秀吉・滝川一益の三人が連署して寺領のうち百石を認めた安堵状が残る。

■大野市宝慶寺1-1 ☎0779-65-8833
JR越前大野駅:車で25分

信長の越前攻め撤退戦で、大役を果たしたと伝わる。



10 金ヶ崎城址 敦賀市

越前攻めで敦賀に侵攻した信長は、天筒山城・金ヶ崎城を落とし、一乗谷へ進攻しようとした矢先、信長の妹・お市の夫 浅井長政の謀反の知らせを受け急遽退却したと伝わる（「金ヶ崎の退き口」）。木下藤吉郎（豊臣秀吉）とともに、光秀もしんがりの大役を務め退却を成功させたともいわれる。

■敦賀市金ヶ崎町1-4
☎0770-22-0938（金崎宮社務所）
JR敦賀駅:「ぐるっと敦賀周遊バス」
金崎宮バス停

9 佐柿国吉城址 美浜町



信長が越前攻めの際に入城して本陣とし、撤退の際も通った。城跡の痕跡がよく残り、ふもとに若狭国吉城歴史資料館がある。

■美浜町佐柿　☎0770-32-0050（若狭国吉城歴史資料館）
JR東美浜駅:「美浜コミュニティバス」佐柿バス停



「明智光秀像」
（岸和田市本徳寺 所蔵）